

令和7年度 授業創造プラン

2年

教科	児童の実態（Gテスト／学力調査を含む）	具体的な取組
国語科	・新出漢字の練習に取り組める児童は多いが、正確に形を捉えたり、書いて表現したりすることが難しい。漢字の読み書きについては、全体として定着が難しい。（Gテスト平均得点率77％） ・物語文や説明文を読むときに、おおまかな内容については理解できるが、細かな内容や心情・場面の様子についての理解に差がある。（Gテスト平均得点率60％） ・適切な文体で作文の続きを書いたり、正しい字に直したりすることが難しい。（Gテスト平均得点率32％）。 ・特徴として、無答率が高く、問題の後半になるにつれて上昇していく傾向がある。（最終2問の無答率それぞれ26％、23％） ・平均得点率では、すべての大問で80％以下で、国語の力が定着していない。 ・適切な時間配分や、多くの問題に集中して取り組むことが難しい。	・クロームブックのミライシード機能や漢字スキルなど使って、既習の漢字や言葉についての理解を深める。 ・季節や行事に合わせた読書活動や、担任による読み聞かせを行い、読みの幅を広げたり、感想を伝え合ったりする。（おすすめの本を紹介する活動、音読発表も含む）身近なことを表す語句を意識させ、言葉遊びを取り入れていく。 ・「おもちゃの作り方をせつめいしよう」の単元では、説明文を書くための文の構造と内容を把握できるように、項目ごとに分けて指導をする。 ・動作化や演劇の方法を取り入れることで、細かな心情や場面について読み取れるようにしていく。 ・言葉を視覚化（絵と言葉を結びつける）指導をしていく。
算数科	・数を数えることや、足し算や引き算の計算、文章題では正答率が高かった。（Gテスト平均得点率93％） ・足し算の計算の仕方の説明では、理解が不十分であった。（Gテスト平均得点率40％） ・形作りについての理解が不十分であった。（Gテスト平均得点率62％） ・式に合う問題の選択についての理解が不十分であった。（Gテスト平均得点率75％） ・任意単位による長さの比較では、長さを比べることはできても、指定された2つのものについて与えられた形式で答えるのが難しかった。（Gテスト平均得点率72％）	・クロームブックのミライシード機能や、デジタル教材を使って既習の計算についての理解を深める。 ・「たし算とひき算のひっ算」や「かけ算」の単元では、計算の仕方やその意味について説明できるように、根拠や意味について意識的に発問していく。児童同士の教え合いも取り入れ、理解を深めていく。 ・「長方形と正方形」の単元では、形作りのパズルに取り組むことを通して、辺や頂点を意識し、図形の構成要素について理解できるようにする。 ・「はこの形」の単元では、辺や頂点を使って立体図形を組み立てることにより、図形の性質や構成要素について理解できるようにする。 ・「長いものの長さのたんい」の単元では、単位の意味について再確認し、既習のcmとmmの関係について説明できるようにする。